



社報遅延、御旅社社務所休止のお詫び

毎月一日に発行しております当社報ですが、今月につきましては担当神職が病氣療養で、執筆する事が出来ませんでした。発行が一週間遅れてしまいました。来月からは通常通りの発行となる予定ですが、六月八日現在も療養中の為、来月以降も再度遅延する場合がございます。その節には誠に申し訳ございませんが、何卒ご容赦くださいませ。

また茶屋町の御旅社の社務所ですが、そのような状況の為、暫く御旅社社務所は休止させていただきます。来月以降は再開の予定ですが、加療の進行次第となります。あくまでも目安とお捉え頂きますと幸いです。ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程賜りますようお願い申し上げます。

部分日食の話

今月廿一日。夕方十六時から十八時にかけて、西の空で部分日食が観測される見込みです。食の最大期は十七時頃で、太陽の下半分が隠れます。平成廿四年五月廿一日の金環日食のときは、日本全国で観測され、大きな話題となったのもご記憶の方も多いのではないかと思います。

その日食ですが、昔は大変不吉なものとされてきました。第八四代 順徳天皇がまじめられた『禁秘抄』には「日月蝕」という項目があり、日食月食の日には天皇は御所の奥深くに籠って、日食月食の光に当たらないようにしなければならぬと書かれています。これは古代において、太陽の神、天照大御神の子孫である天皇にとって、太陽の光が弱まるという事は、即ち天皇のチカラも弱まり、ひいては日本国の国力が弱まると考え、その光に触れないようにしたと考えられています。西洋では早い段階で、日食は天体の運行という事が科学的に確認され、十七世紀頃には正確に予測できるようになっていました。日本でも江戸時代以降、渋川春海や、麻田剛立などの研究で日食は天体の運行である事は分かっています。江戸時代の民衆にとって、太陽の光はそのまま收穫に直結する事から、日食を忘む考えは長く明治時代まで残っていたようです。

なお、次回、この日本で観測できる日食ですが、ごく一部地域に限り三年後に観測出来ませんが、今回のような日本全国で日食が観測できるのは、次回は十年後となります。

祭礼催事中止について

報道等でもご承知の通り、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が、大阪府では五月廿一日に解除となりましたが、現状を鑑みるに、引き続き感染拡大を防止する観点から、密集状態を避ける為、左記祭礼につきましては、神職による神事のみとし、一般のご参列はご遠慮頂く形で斎行する事となりました。

- ・ 六月 四日 齒神社例祭
- ・ 六月二十五日 御誕辰祭(御旅社)例年神事のみ
- ・ 六月三十日 夏越大祓(御旅社)
- ・ 七月六日〜七日 七夕祭(御旅社)
- ・ 七月十五日 例祭(御本社)
- ・ 七月廿四日 遣梅式(神事も中止)

何卒ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

今月の暦

【祭礼】 齒神祭(四日)：飛地末社の齒神社の例祭 本年神事のみ  
御誕辰祭(廿五日)：菅原道真公誕生日 神事のみ  
夏越大祓(廿日)：神事のみ。本年は茅の輪も無し

【節気】 芒種(五日)：イネ科の種まきの頃  
小満(夏至)：日中の時間が最も長くなる頃  
入梅(十日)：梅雨入りの頃。また梅の実の収穫期  
歯と口の健康週間(四日〜)：歯を大切にしましょう

【雑節】 六月五日、十一日、十七日、廿一日、廿八日  
【忌日】 大阪大空襲の日(一日)：二回目の空襲。梅田罹災の空襲  
沖繩慰霊の日(廿三日)：先の沖繩戦終結の日

【旬】 【野菜】 枝豆、トウモロコシ、タマネギ、キクラゲなど  
【果物】 梅、アランズ、スモモ、サクランボ、枇杷など  
【魚介類】 梅、アジ、キス、トビウオ、ホタテ、岩モズクなど  
【その他】 菖蒲、紫陽花、立葵などの季節の花が見頃

雑感

大阪府民の強い団結力のお陰か、予想よりもかなり早い段階で緊急事態宣言の解除となりました。先月は別世界のように静まり返っていた梅田ですが、今月は人通りもかなり増え、もとのような賑わいが戻りつつあります。本当にこの二ヶ月近く、皆様お疲れ様でした。しかしながら、今月初旬の段階では、東京都での感染者数の増加や、ブラジルでは感染爆発状況となっている事をみますと、まだまだとても収まったとはいえません。引き続き警戒を怠る事なく、コロナウイルスともある新しい生活様式を実践していきましょう。

網敷天神社 SNS、地図サイト



編著 網敷天神社 橋宜(御旅社 神主)  
白江 秀 知

